



こんな本も読んでみましょう

選者：東京都台東区立金竜幼稚園 園長 大野 紀子

イギリスの童話

「ありときりぎりす」

夏の間あそんでいた きりぎりすは、冬になると…。

夏の間、ありたちがはたらいているよこで、きりぎりすは歌を歌ってあそんでいました。冬になりました。ありは、夏にあつめた食べもので元気にくらしていますが、きりぎりすは食べるものがありません。きりぎりすは、「ぼくもはたらけばよかった」と、心から思いました。

イギリスの童話

「うさぎとかめ」

うさぎとかめがきょうそうをしました。どうなるでしょう？

足のはやいことを自まんしていたうさぎが、かめと、むこうの山まできょうそうすることになりました。うさぎは、あっという間に山のふもとにつきましたが、のっそり歩くかめを見て、お昼ねをはじめました。さあ、どちらが早くゴールするのでしょうか？

イギリスの童話

「よくばりないぬ」

川の水に、自分のうつったすがたを見た犬は、どうするのかな？

犬が、おいしそうな肉を見つけました。家に帰って食べようと、はしの上まで来ると、水の中に、肉をくわえた犬が、一ぴきいました。「あの肉もほしいなあ」と思った犬は…。

イギリスの童話

「きんのおの」

正直なきこりは、「金」と「ぎん」のおのをもらいましたが…

きこりは、おのをみずうみの中におとしてしまいました。すると、めがみさまがあらわれました。正直なきこりがてつのおのをおとしたことを話すと、「金」と「ぎん」のおのをくれました。それを見ていたよくばりなきこりは、わざとおのをおとしました。さあ、どうなるのでしょうか？